

# うおぬま水の回廊「神秘」へ

【滝雲スポット】魚沼市枝折峠  
【滝雲シーズン】6月中下旬～11月上旬  
【滝雲発生タイム】日の出前後または早朝



## 自然豊かな魚沼でこそ望める「滝雲」

早朝に奥只見・銀山平で発生した霧が山の稜線を越え、まるで滝のように流れ落ちる自然現象が「滝雲」です。この神秘的な雲の大瀑布を見に、国内からカメラマンをはじめ多くの方が訪れます。

動画でチェック



枝折峠の滝雲・雲海

「うおぬま水の回廊」の問い合わせ先

一般社団法人 魚沼市観光協会

新潟県魚沼市吉田 1144 TEL 025-792-7300

<https://www.iine-uonuma.jp/>



各空港からの所要時間（新幹線利用）

新潟空港	新潟駅	浦佐駅	約 1 時間 10 分
羽田空港	東京駅	浦佐駅	約 2 時間 10 分
成田空港	東京駅	浦佐駅	約 3 時間

# うおぬま水の回廊「楽園」へ

日本を代表する高層湿原の尾瀬ヶ原や尾瀬沼を有する、自然の宝庫「尾瀬」。尾瀬を育み、潤す豊かな水は、日本有数の規模を誇る「奥只見ダム」へとつながります。尾瀬から始まる「うおぬま水の回廊」を辿ってみましょう。



## 日本を代表する自然の宝庫「尾瀬」

新潟・福島・群馬・栃木の4県にまたがる尾瀬は、国立公園に指定されています。本州最大級の「尾瀬ヶ原」から、太古の昔、燧ヶ岳の噴火によって誕生した「尾瀬沼」など、絶景とともに貴重な湿性植物や高山植物を見ることができ、天上の楽園とも評されています。尾瀬沼から流れ出た沼尻川はやがて水量豊富な急流となり、奥只見ダムに流れ込みます。

## 尾瀬は自然保護運動の原点

かつては尾瀬の豊富な水資源を利用した開発が進められようとしていました。しかし、日本でもとりわけ貴重な高層湿原を有する尾瀬は、多くの人の取り組みによって保護されることになりました。半世紀も前からそうした活動が行われてきた尾瀬は、国内の「自然保護運動発祥の地」といわれています。



# うおぬま水の回廊

— 尾瀬・奥只見 —



やさしい水の郷  
魚沼市へ、ようこそ



## 発電の仕組みが学べる「奥只見電力館」



奥只見湖を一望することができる資料館です。奥只見ダムや水力発電の仕組みを学んだり、ダム建設当時の貴重な映像を見ることができます。

# うおぬま水の回廊「圧巻」へ



## 国内有数の規模を誇る「奥只見ダム」

貯水量 6 億立方メートルを誇る巨大な奥只見ダムは、完成までに約 47 年を費やしました。台湾の「烏山頭ダム」同様、かつては東洋一とも謳われたほどです。その深い山々を映し出す「奥只見湖」には遊覧船が就航しています。船上から眺める北欧のような絶景は一見の価値あり。また、ダム建設時に造られた「奥只見シルバーライン」は、全長 22km のうち 18km がトンネルという国内でも稀な道路。トンネルに次ぐトンネルはまるで異世界へ誘うようです。

【奥只見ダム】  
発電量：国内 1 位 / 貯水容量：国内 2 位

